

令和5年度 第3回 井田川小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和5年11月15日（水）13：10～15：05

2 場所 熟議（多目的室），授業参観（各学年教室）

3 あいさつ（委員長，学校長より）

- ・委員長より 後期に入ったが，コロナも明け，修学旅行も従来通り行うことができ
てよかった。多くの教育課題を解決していきたい。
- ・学校長より 授業力向上に力を入れている。地域の行事も，たくさんあった。
子どもの成長が現れる時期である。命の大切さを伝えていきたい。
インフルエンザ等による学年閉鎖が2学年あった。
写真を投影し，学年別の行事の紹介を行った。

4 授業参観（約20分間）

- ・1年生 国語科 「カタカナ」
- ・2年生 生活科 「大根の観察」
- ・3年生 学級活動 「人権集会に向けて」
- ・4年生 算数科 「およその数」
- ・5年生 図画工作科 「読書感想画（じいちゃんの島は宝島）」
- ・6年生 総合学習 「修学旅行の新聞づくり」

5 熟議内容

(1) 学校関係者評価について

- ・評価項目についての説明を行った。

【委員より】

- ・全体的におとなしく授業を受けていた。
- ・背面掲示板がすばらしい学年があった。児童の運動会の絵を切り取って，コース
をテープで貼り付け，ダンスや徒競走の絵を組み合わせで掲示してあった。クラ
スがまとまっている感じがした。
- ・学級活動とは，どんなものなのか。
→学級活動とは，学級や学校の生活の充実と向上に関する話し合い等の活動が主
である。

(2) 全国学力・学習状況調査の結果と分析について

- ・学校だよりを参照し，国語と算数の強みと課題について説明を行った。
- ・図や資料をもとに，自分の言葉で説明できる力を大切にしている。

【委員より】

- ・データ活用と読むことが全国より数値が高いのはよいことである。

- ・三角形の面積は、底辺×高さ÷2であるが、丸暗記ではなく、なぜそうなるのかを考えさせる必要がある。三角形の面積は、底辺の長さが高さが分かれば求められるが、関係のない長さの数字に惑わされないようにする必要がある。

(3) 教職員の働き方改革について

動画「学校における働き方改革 先生が忙しすぎる をあきらめない」
(文部科学省学校業務改善アドバイザー 姉尾昌俊氏)を視聴する。

【委員より】

- ・先生方が家庭に持ち帰って仕事をする場合、USBの管理はどうなっているか。
→現在、クロームブックが一人一台支給されたため、USBはいらなくなった。
- ・超過勤務を命じられる場合は、どんな場合か。→限定4項目がある。
- ・小中一貫校等の大きな学校単位にし、専門職も入って頂くとよいのではないか。
・鈴鹿市の学校の統廃合は、天栄学園(仮称)の後は、鈴峰中学校区、そして白鳥中学校区になるのではないかと新聞記事を見た。小中一貫になるのであれば、もっと早めの方がいいのではないか。やるのであれば、早くやった方がいいと思う。スクールバスで通学時の安全性も確保できる。
- ・白鳥中学校までの自転車通学も、スクールバスだと安全性を確保できる。
- ・働き方改革は、先生方の健康管理も大切である。

6 今年度の学校運営協議会日程

- ・1月24日(水) 15:00～ 学校関係者評価、各担当者からの報告
- ・2月15日(木) 13:15～
前半は、学校保健委員会(校医、歯科医、学校薬剤師参加)
後半は、学校運営協議会(学校関係者評価のまとめ、来年度に向けて)
- ・12月5日(火) 15:00 白鳥中区学校運営協議会を石薬師小にて開催。
(委員長、副委員長、校長が参加)

7 教育委員会より

- ・今回は、説明部分が長かったが、次回は担当者からの成果報告がある。
- ・先生たちが子どもたちに関わる時間が少しでも増やせるようにという理由で働き方改革をどの学校も行っている。井田川小学校は、地域の方に力になってもらっている部分が多い。例えば、青色パトロールカーについては、私の車も含めて「2台も走っている。」と下校時の児童に言われることもある。他にも、図書ボランティア、農業委員さんなどかなりの労力であるが、助けてもらっている。図書ボランティアについては、昨年度の文部科学大臣表彰に貢献されている。
- ・教育実習生が教職をあきらめた記事を読んだ。長時間労働、部活動、保護者対応が大変なためである。中学校の部活動については、地域に移行する方向である。
- ・私の過去の勤務校でも、毎日10分の朝の打ち合わせを週2～3回にしたり、この会議は必要か話し合ったり、クロームブックの有効活用を話し合ったりした。